

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	15	学校名	宇都宮市立泉が丘小学校
-----	---------------	------	----	-----	-------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となるように、確かな学力と豊かな心、健やかな体をもち、これからの社会を力強く生き抜くことができる力をもった、たくましい児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・ 進んで学び、基礎・基本をしっかり身につける子（しっかり学ぶ 泉っ子）
- ・ 学びをもとに考え、問題解決ができる子（よりよく生かす 泉っ子）
- ・ 自分の生き方を考え、誠実で思いやりがある子（なかよく生きる 泉っ子）
- ・ 健康や安全に気をつけ、元気に生活できる子（元気でがんばる 泉っ子）

2 学校経営の理念 「児童一人一人が、みんなとともに生き生きと輝く学校」を目指す。

- ・ 児童が夢と希望をもち、明るく活気に満ちた学校
- ・ 気持ちのよい環境で、温かい心の触れ合いにあふれ、仲間とともに仲よく学べる学校
- ・ 家庭・地域と連携した教育活動を推進し、信頼される学校

3 学校経営の方針

(1) 一人一人を大切に、全人教育を目指す学校

〔一人一人の児童を大切にしよう〕

一人一人の児童について知・徳・体の調和のとれた成長を促すとともに、個人及び公民的資質の伸長を図り、教育目標の具現に努める。

(2) これからの社会を力強く生き抜くために必要となる資質・能力をしっかりと育成する学校

〔日々の授業に力を尽くそう〕

全ての教科領域で、「基礎的・基本的な知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」を通じた質の高い教育の充実に努める。

(3) 児童の思いを豊かにする学校

〔子供が通いたくなる学校・学級をつくろう〕

豊かな感性を育て、互いに高め合える学級集団の育成を推進し、いじめ・不登校・集団不適應など、児童指導上の課題解決に努める。

(4) 創意ある「社会に開かれた教育課程」を編成・実施し、家庭・地域に信頼される学校

〔地域や保護者と共に子供たちの未来を考えよう〕

伝統ある校風を基盤に、児童・保護者・地域の実態や思いを共有し、創造的・計画的に連携を進めて、地域の信頼と要請に応え、公教育の使命を果たすように努める。小中一貫教育の推進にも積極的に取り組む。

(5) 教職員が自ら学び生き生きと勤務する学校

〔自ら学び生き生きと働こう〕

教職員としての自覚と使命感を持って、一人一人が絶えず研究と修養に努めるとともに、教師自身の生活の質を改善し、生き生きと働けるようにする。

〔泉が丘地域学校園教育ビジョン〕

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成～学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉～
泉が丘中・今泉小・泉が丘小の3校が連携・一貫して「学び・共に行動し・鍛える」教育活動に取り組むことにより、3校共通の学校経営の重点である「児童生徒の人間関係構築力」の育成を図り、相互に関わり合いながら「共に学ぶこと」「共に行動すること」「共に生きること」について考えさせることにより、各校における教育課程実践の充実・深化を図る。

4 教育課程編成の方針

- (1) 学校教育目標達成のために設定された学校経営の理念及び学校経営の方針、地域学校園の教育ビジョン、今年度の重点目標、今年度の努力点や具体策を踏まえ、全教育課程に意図的・計画的・系統的にその具現化を図るため、教科等横断的な視点に立って編成する。
- (2) 児童の学校生活の場として設定している、朝の活動、授業時間（各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間＜泉の時間＞、特別活動）、休み時間（業間、昼休みを含む）、給食の時間、清掃の時間を基本的な枠組みとして教育課程を編成し、各教育活動相互の関連とその配置のバランスを図り、時数を確保する。
- (3) 年間的な枠組みとしての2学期制をもとに、教育内容の設定と授業・教育活動時間相互の有機的な関連を図る。また、効果的な教育活動の規模等について重点化を図りながら、柔軟性をもたせ、教育活動全体として計画的・機能的で一貫性のある調和のとれた実施計画を作成することにより、学校教育目標の達成を図る。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営 **グローバル社会に向き合うとともに、郷土愛を醸成する教育の推進**
 - ① 学習指導の充実（学力向上）を図ることを最優先と位置づけ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた日々の授業改善の推進を大きな柱として取り組む。
 - ・「令和の日本型学校教育」構想のもと ICT を活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業推進に取り組む。
 - ② 「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
 - ・学校経営方針、具体策、本年度の重点目標への取組の様子などを今まで以上に保護者、地域に広く周知していく。新たな課題解決に向けた授業や学校行事等の取組を学校 HP や学校だより、学年だよりなどで積極的に紹介し、保護者・地域住民の理解と協力を促す。
- ③ 泉が丘地域学校園の小中一貫教育、地域の教育資源の積極的な活用により「学校力」のさらなる向上を図る。
 - ・地域の教育力を生かした教育活動（地域人材や教育資源の活用等）を積極的に展開し、「地域とともにある学校づくり」を着実に推進する。
- ④ 勤務時間を意識した働き方改革を推進し、校内の業務の適正化・明確化・効率化を図る。
 - ・日常業務の精選や行事・日課の見直し、ICT活用による労力軽減を推進し、限られた時間の中で児童と向き合う時間を確保して適切な指導を行えるようにする。
 - ・働き方への教職員の意識改革を進め、自己の充実を図る。

(2) 学習指導 **確かな学力の育成**

単元や題材のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ① 教師が、児童に身に付けさせたい力を明確に認識しておくとともに、授業の目標（めあて・ねらい）を児童自身が確認できるようにし、学習計画をもとにした学習の見通しをはっきりもたせた上で、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題にじっくり取り組めるよう、発問や学習活動を工夫する。
- ② 思考力・判断力・表現力育成につながる「自分の考えを書く活動」の習慣化やそれを基に、「聞く・話す」など言語に係る基本的な能力・技能を身に付けさせる「説明」「話し合い」活動を充実させる。
- ③ 本時の目標や評価規準に基づいたまとめや振り返りを確実に行うことにより、児童に「何を学んだのか」を実感させるとともに、振り返りに対する具体的な言葉かけを行い、学習意欲や主体的に学習する態度等を養う。
- ④ 高学年での教科担任制を積極的に推進し、専門性の高い授業展開や効率的な授業研究を行う。

個別最適な学びと協働的な学びの融合を図った授業の推進

- ① 情報活用能力等の学習の基盤となる基礎的基本的な資質・能力等を土台とし、ICT 機器を効果的に活

用しながら、一人一人の興味・関心・能力に応じた学習活動や学習課題に取り組む学びを充実させるとともに、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら課題に取り組む態度を養う。

- ② プログラミング学習を生かした論理的な思考の育成を図るとともに、教科横断的な視点にたって現代的な課題の解決を図ろうとする学習活動を充実させる。
- ③ 一人一台端末の活用を通して、情報活用能力の定着を図るとともに、よりよい情報の使い手を目指すデジタルシティズンシップ教育を推進する。

(3) 児童生徒指導 **豊かな心を育む教育の推進**

- ① 心の教育の充実により、自信や自己肯定感・自己有用感、規範意識、思いやりなどを育成するとともに、これからの社会において特に必要となる、多様な他者とともに協働しながら目標に向かって挑戦するたくましさ等を養う。
- ② いじめをはじめとする問題行動や不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に向けて、教職員が組織的に対応できる体制づくりを推進する。
- ③ 複雑化する問題へ対処するために家庭との協力はもとより、地域社会・関係機関とも連携を強化した取組の充実を図る。

(4) 健康（体力・保健・食・安全） **健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進**

- ① 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成するために、自らの健康面や体力面のよさや課題を把握し、自分に応じたためあてを設定し、健康（体力・保健・食・安全）について進んで活動に取り組むことができる児童の育成を目指す。
- ② 運動に親しもうとする態度や能力のより一層の育成を目指し、児童の発達段階や実態に応じた運動量を確保した授業（特に投力・持久力向上に向けた運動）、休み時間を活用した運動イベントの企画等の工夫（運動委員会主催等）により運動機会を創出することで、運動の日常化を図る。
- ③ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を定着させるとともに、感染症等の予防についても正しく理解させ、適切な行動をとることができるようにするなど、健康で安全な生活を送れるよう指導する。
- ④ 安全教育・安全指導を充実し、危険に対して自らの身を守る行動がとれる児童の育成を目指す。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 基礎・基本をしっかり身に付け進んで学ぼうとする態度を育成する。 （しっかり学ぶ 泉っ子）
- ② 学びを生かして考え、新たな課題解決に向かおうとする資質・能力を育成する。
（よりよく生かす 泉っ子）
- ③ 自分の生き方を考え、誰に対しても誠実に思いやりをもって接する態度を育成する。
（なかよく生きる 泉っ子）
- ④ 健康や安全に気を付け、進んで運動しようとする態度を育成する。 （元気でがんばる 泉っ子）

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

しっかり学ぶ

- ・ 家庭学習の充実を図り、基礎基本の定着を目指す。
- ◇ 学習センターとしての図書室機能の充実を図り、確かな情報収集・処理能力を育成する。

よりよく生かす

- ◇ ICT機器の効果的な活用を推進し、課題解決能力の向上を図る。
- ◇ 職業人を招いたキャリア学習を通して、自らの生き方を考える機会を設ける。

- ◇ 小中連携活動を推進し、中学校への期待を高め目標を持たせる。

なかよく生きる

- ◇ 本に親しませ豊かな情操を育む。(読み聞かせ, I C C 文庫)
- ◇ 栽培活動を充実させ、体験活動や地域との交流体験を実施する。
 - ・ 各学年の越戸せせらぎ通り清掃活動を通し、勤労・ボランティア精神の涵養を図るとともに、郷土愛を育む。
- ◇ 縦割り班活動を推進し、異学年交流を通して、リーダーシップやフォロアーシップを育成する。
- ◇ 明るい挨拶響き合う学校を目指し、挨拶運動を推進する。

元気でがんばる

- ◇ 目的をもって運動に取り組み、運動に親しむ環境づくりを行う。
 - ・ 健康チェックカード、検定カード、頑張りカード等を活用し、健康の保持増進と体力向上への意欲を高める。

8 本市の重点施策・事業と関連

- (1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む)
 - ① 基本的考え: 学校教育活動の充実と社会に開かれた教育課程の実現のため、積極的に連携を図る。
 - ② 主な取組: 地域団体、外部講師、保護者ボランティア等との連携を図ったカリキュラムの実践
学習や行事への支援・協力、児童の健全育成及び安全確保、潤いのある環境整備 等
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
 - ① 基本的考え: 泉が丘・今泉地区の児童生徒を、同じ方向・歩調で育むために連携・協力を図る。
 - ② 主な取組: 泉が丘地域学校園教育ビジョンに基づき、次の部会活動の充実を図る。
小中合同授業力向上プロジェクト、児童生徒指導強化連絡会及び不登校対策協議会の充実
小学校6年児童による中学校訪問、小6・中1合同「越戸せせらぎ通り清掃活動」
- (3) 不登校対策
 - ① 基本的考え: どの児童にも起こりうるものとして捉え、全ての児童に対してきめ細やかな配慮や対応を心掛け、未然防止と早期発見・早期対応に努める。不登校傾向を把握した時には、状況に応じて効果的な対応を組織的に行う。
 - ② 主な取組: 新たな不登校を生まない集団づくり、不登校傾向児童等配慮児童に対する校内支援体制の確立(組織的・計画的に行う別室登校支援等)、教育相談係・児童指導主任を中心としたケース会議の開催、外部機関との連携、スクールカウンセラー等の活用、I C Tの活用 等
- (4) G I G Aスクール構想
 - ① 基本的考え: 全ての児童、教職員が端末を文具の1つとして、授業の内外で日常的に活用することから始め、授業における協働学習ツールの活用、探究的な学びの促進へと段階的に活用を進める。
 - ② 主な取組: 活用の手引きの作成、活用事例資料の年計への位置付け、プログラミング教育の推進、家庭学習での使用(AIドリル、Meet)、I C T支援員との連携、多様なアプリケーションの効果的活用法の研修 等
- (5) 宇都宮学
 - ① 基本的考え: 郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて、体系的な学習を行うことを通して、郷土への愛情や誇りをもち、よりよい社会を創る担い手となるとともに、未来に向かって主体的に生きていくための資質・能力を育成する。
 - ② 主な取組: 社会科と「宇都宮学」を関連付けた授業、「宇都宮学」に関連した施設や場所などを見学する体験的な学習、「宇都宮学」副読本などを使用した探究的な学習 等

